



5月です！もうすぐ雨の季節になります。ポーポキは、お天気がまだ良いうちに、お外で楽しく遊びます。遊んだあとは、アイスがおいしいですね！あなたもアイスが好きですか？どんな味がいちばん好き？

Popoki's Hot News!



Coming soon!

灘チャレンジ 2019

2019年6月30日 @ 都賀川公園

楽しい一日を一緒にすごしませんか？

ポーポキはブース、ゲーム、展示をします。

大船渡からおはなしころりんの江刺由紀子さんが
スペシャル・ゲストとして一緒に参加します。

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのゆりかにはんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。(平和を感じる時は、)「子供達の笑い声を聞いた時」
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？

ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !

ポーポキに出会う

柳谷舟子（やなぎたに ふねこ）

2019年4月13日（土）午後2時から日本基督教団甲東教会を会場に「セクシュアル・マイノリティー差別と取り組む兵庫教区対話集会 in 阪神地区」が開催されました。日本基督教団兵庫教区常置委員会は、1998年日本基督教団内で起こったセクシュアル・マイノリティー差別発言を重く受け止め、教会の中で、一人一人が自分らしく生きてゆけるよう、学習会、対話集会などの取り組みを継続してきました。今までに常識として教えられてきたことの中にも含まれる、多くの間違いや思い込みを払拭することはとても難しく、絶えず考え続け、意識し続けることの大切さを感じてきました。自分の思いにとらわれず、他者のありようとその違いを、素直に認めることはとても大切です。と、頭では理解していても、心と体で感じることはなかなか難しいところです。



ロニーさんはポーポキの紙芝居を通して、あっという間にその関門を打ち破りました。

その後、ロニーさんはご自身のことを含めて、今わたしたちの持っている課題を丁寧に説明してくださいました。あやふやだった理解がすっきりと整理されました。

人々が平和に生きることは権利であるはずなのに、なぜ差別があるのか、国家や社会がジェンダー、セックス、セクシュアリティを管理することで起こってくるのだ。そして平和を希求しつつも、実現できている国は必ず

しも批准国の数に達していないのが現状であると統計や図を示しながら説明してくださいました。

また所謂、セクシュアル・マイノリティーと総称されていたLGBTQIAの一つ一つの立場について説明をしてくださいました。またSOGIについてもふれ、LGBTQIAは主体「誰」をSOGIは属性や特徴「何」をあらわしていると説明されました。説明はわかりやすく、それぞれの立場に思いをはせることが出来ました。

果たして日本社会は、セクシュアル・マイノリティーにやさしい社会？というテーマでは職場での差別や偏見が多いとの悲しい報告でした。さらに当事



者も非当事者も知識が不十分であるとの統計も示されました。学校や、職場でも相談できる相手も見つからないし、カミングアウトしたくても、相手の反応が心配だったり、自由に自分自身のセクシュアリティを語る環境にないことも指摘されました。

最後はお待ちかねの紙芝居作りです。泣いているポーポキがなぜ泣いているのか、理由を設定し解決策を具体的に紙芝居にしてゆきます。テーブルごとに分かれた参加者のグループで話し合いや、作業が始まり、にぎやかに時間延長をしてまで、没頭しました。それを発表しあい、問題は深刻であるにもかかわらず、自由に意見を交わすことが出来ました。

キリスト教は平和を願い、一人一人が大切にされていることを一般の社会に比べたら、できている場所であるはずですが。社会的に弱くされ、差別されている人たちとともに生きることが示されています。でもその通りにできているのでしょうか。むしろ今の社会より遅れていると思います。仲間内で凝り固まって、意識もせずに切り捨てているのではないかと考えました。話を聞き、作業の中で、今教会ですぐにでも取り掛かり変えてゆくべきものがあるのではないかと考えました。何か態度を決めようとするとき、キリスト教の中に **What Would Jesus Do?** という言葉がありますが、ポーポキとの出会いを通して、**What Would Popoki Do?** と思いつくことが出来ると思いました。





ポーポキの東北の旅(3)

ディにゃん

私たちは、『ポーポキ通信』の3月号と4月号に、東北の旅の最初日と2日目を報告しました。そして、今回はディにゃんより3日目の報告をしたいと思います。

3日目(2月10日)ににゃんたちは主に大槌町のマストで活動をしました。午前中は、展示会が行われていたマストの2階にいて、午後に開催される読み聞かせ会に使うストーリーの準備をしました。いろんな方と話をし、彼らが午後に予定されているポーポキの読み聞かせに興味があるかどうかを聞いたり、平和の意味を聞いたりしました。平和についての質問の一番面白い側面は、正解がなく、答えはひとつだけではないということだと思います。人によって答えは



異なります。さらに、ある子どもたちが平和という言葉の意味がよくわからなかったので(場合によっては大人としての私たちもよくわかりませんが)、質問の聞き方を「何が好き？」か「何がなかったら困る？」に変えてみました。そして、「いちごケーキ」、「まくら」、「帽子をかぶること」、いろんな可愛い答えがでてきました。



午後になって、読み聞かせのためにマストの1階に移動しました。私たちが選んだ物語は、「ポーポキのピース・ブック」と「ポーポキ友情物語」のページから構成されたものです。上の写真のような形で一通り読みました。聴衆は主に子どもたちだったため、話は少し難しかったようです。だから後半は、言葉が理解されやすいポーポキのキャラを添ったジン

ジャーブレッドマンの話に変えました(左の図)。

これは私たちが大槌町にいる最後の日でした。荷物を準備しているとき、にゃんたちは少し寂しい気持ちになりました。

ありがという、大槌！また会いましょう！

2019年 大槌町・大船渡市 活動報告会

執筆：あすたにゃん
日本語訳：なぎさにゃん
写真提供：さとにゃん

2019年4月20日、神戸学生青年センターにて、2月8日～11日に訪れた大槌町・大船渡市での活動の報告会を行いました。報告会には、現時点でのポーポキのメンバーのみならず、以前、そして将来のメンバー、また一般の方々も参加しました。今回の報告会は、以下の2つの目的を基に開催しました。

- 1) 私たちの大槌町・大船渡市での経験を参加者に共有するため。
- 2) 今後、私たちの活動に参加したい人に向けて、ポーポキや、ポーポキ・ピース・プロジェクト、ポーポキ友情物語を紹介するため。

報告会は、なぎさにゃん、でいにゃん、らにゃん、さとにゃん、ろにゃんや私の自己紹介から始まり、その後、ろにゃんがポーポキ・ピース・プロジェクトやポーポキ友情物語について紹介しました。続いて、らにゃんが大槌町と大船渡市における地震と津波の被害について、簡単に説明しました。序盤で機械のトラブルも起こりましたが、らにゃんの友だちが私たちを手伝ってくれました。その後、私はなぎさにゃん、でいにゃん、らにゃんと、東北で行った展示やワークショップ、そのほかの活動についてのプレゼンテーションを行い、また現地で撮った写真をビデオにまとめて上映しました。皆さんはビデオを楽しんでくれたと思います。8ヶ月の小さいにゃんでさえ、ビデオの中で流れた **Baby Shark** の歌に反応していました。

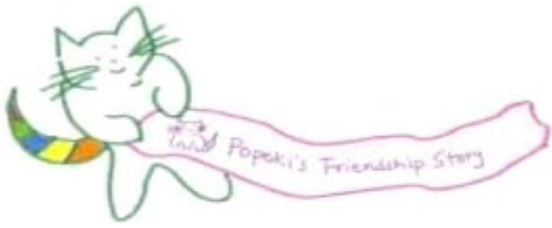
報告会について企画していた時、私やなぎさにゃん、でいにゃん、らにゃんは、私たちが大槌町・大船渡市で経験したことをどのように伝えるべきか悩んでいました。私たちがそこで感じたこと、経験したことを参加者の皆さんにも体感してもらいたかったからです。なので、大槌町や大船渡市で行った絵本の紙芝居を、報告会でも行いました。また参加者の皆さんにも紙芝居をやってもらいました。このようにして、一方通行ではなく、皆さんが参加できるような報告会にし、ポーポキ・ピース・プロジェクトがどのような活動なのかを体験してもらいました。また、プレゼンテーションや紙芝居を英語と日本語両方で行ったことで、参加者の皆さんから良い反応を頂くことができました。皆さんにも、日本語と英語の両方で紙芝居に挑戦してもらいました。

その後、私たち6人は事前に用意していたふりかえりの質問に答えていきました。さとにゃんは、ポーポキの活動が東北支援でどのような役割を果たしているのか、らにゃんは、これからどんな活動をやってみたいのか、私は、東北で学んだことを一言で表すなら、ろにゃんは、東北での活動で何を学んだのか、なぎさにゃんは、東北の被災地と神戸の違い、でいにゃんは、活動の中で誰が一番印象的だったのかについて話しました。

次に、友情物語で使っている布に移りました。私たち4にゃんは、大槌町と大船渡市で描ってもらった絵について話し、その後、皆さんに布を見てもらい、お絵描きもしてもらいました。この時に、皆さんからのフィードバックや質問もお聞きしました。

予期せぬことに、しかし幸運にも、ポーポキの折り紙を考案した方が参加されており、折り方を自直々に教えてくれる折り紙コーナーができていきました。ポーポキの昔からの友達も顔を出しに来て、もうすぐお父さんになるという報告をしてくれました。その後、ろにゃんの感謝の挨拶で報告会は締めくくられました。素晴らしい活動報告会ができたと思います。





Popoki's Interview

らにゃん

今年の2月にポーポキはポーポキの友だちと岩手県の大船渡市という美しい街に行きました。そこで素晴らしい人たちと出会い、一緒に災害と過去の災害が現地の人たちに引き起こした課題について話す機会を得ました。大船渡市で出会った田中君代さんは、自らの3.11の体験や現地の人たちの様子について話してくれました。

1. あなた自身について教えてください。

福島で生まれたけど子どものころは家族と日本の別の地域に引っ越しました。2011年の東日本大震災の数年前は大船渡市が人材不足だったので、そこに移住しました。2011年3月に地震と津波が発生した時、大船渡市にいました。

2. 自分の震災体験や、大船渡の人たちがどのような問題に直面していたのかについて教えてください。

幸いに家族と家は大丈夫でした。その直後に、地域の人たちを支援するためにボランティアをすることにしました。ボランティアは日本だけではなく、海外のロシアや韓国からも来ました。救援物資を持って大船渡市の復興を支援するために来てくれたボランティアは素晴らしいと思いました。私はそのボランティアと一緒に頑張って、救援物資を別々に分ける仕事をしました。服や食べ物などがあって、誰でもが必要としているものをその場所でもらうことができました。



ポーポキの布に田中さんに書いていただいた絵です。子どもの時から田中さんの大好きな福島のあんぽ柿です。

3. ポーポキとポーポキの友だちに伝えたいメッセージはありますか？

2011年の震災後のように暗くて恐ろしい時代でも明るいものを見つけるのは大切だと思います。私は地震の後で手伝いに来ていただいたボランティアの優しさに感銘を受けました。

ですので、ポーポキが海外からの友だちと大船渡市に来る予定があると聞いてこのイベントに参加することにしました。他の国から来た新しい人たちと出会う機会が再びあったことにとてもうれしくて感謝しています。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 132

今月のテーマは、コアと足腰のトレーニングです！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、うつぶせになりましょう。足をのばしたまま、片足ずつゆっくりあげたり下げたりしましょう。合わせてしっぽもね。
3. 次は、横向けで、ゆっくり足を上げたり下げたりしましょう。片足がおわったら、向きを変えて反対の足も。両足を同時にあげることに挑戦しますか。
4. 最後は、両足を45度ぐらいの角度まであげてからゆっくりと右回りで円を描きます。次に左回り。しっぽも？
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会： 6月17日@灘薬剤師会 19:00

- 5.23 「ポーポキ、海はこわくないか？ポーポキの平和と安全安心の沿岸部コミュニティにおける活動からの学び」国際海洋文化会議 2019 基調講演 国立高尾科技大学、台湾、高尾市 (ろにゃん)
- 5.24 「ポーポキと一緒に安心、安全そして平和を考える」講演とワークショップ@台湾・高尾市・高尾科技大学 (ろにゃん)
- 6.30 灘チャレンジ！ 10:00~16:00 都賀川公園 スタッフ集合:9:00@ポーポキブース。次ページにもご参照！ <https://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge>
- 7.6 ポーポキ@子どもの里！
- 7.30 ポーポキ読み聞かせ@はとぼっぼ保育所！
- 8.2 又は5 ポーポキ@神戸大学男女共同参画推進室主催のサマープログラム

- 8.5 ポーポキワークショップ@国際理解教育・国際共催セミナー (JICA 関西)
- 8.6 ポーポキ@MERCY Malaysia Conference! クアラルンプール
- 8.9 ポーポキの核問題を話し合う国際スカイプ! (予定)
- 8.18-30 ポーポキ@ユネスコチェア・サマープログラム インドネシア・ガジヤマダ大学
- 9.28 福島第一原発事故による避難問題を考えるセミナー (予定)
- 10.12 平和と健康ワークショップ 兵庫医療大学 14:00~16:00 (さとにゃん)

NADA CHALLENGE!

なだ 難チャレンジ 2019 祭

6/30(日) 10:00~16:00
 場所: 都賀川公園 @togagawa park
 少雨決行 荒天中止

神戸大学の学生が中心になって
 地域のみなさんと作るお祭り、難チャレンジ。
 阪神淡路大震災の復興祭としてはじまり、
 今年で25回目の開催です。

minigames
 booths, stage
 new project
 exhibition

子どもむけミニゲームにたくさんの模擬店、楽しいステージに
 会場にいる皆さんで行う新企画、灘区民ホールで行われる展示。
 これは楽しむしかない...! 6/29(土)には子どもたちとパレードをします!

〒657-8501
 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1神戸大学学務部学生支援課気付
 神戸大学学生震災救援隊内灘チャレンジ実行委員会
 ☎ : 078-881-4755
 ✉ : nadachallenge@yahoo.co.jp
 HP: <http://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge>
 Twitter : @Ncha 2019

詳しくはこちらの
 QRコードからアクセス!



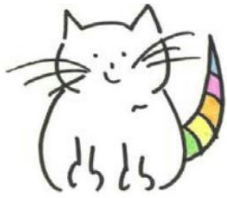
Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！ <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO：66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」 2008.10.8 10





私にとってポーポキ

かよにゃん

グアムに暮らし始めて二十数年が経ちました。グアムに来て驚いたことは、グアムの人々の災害への備え、特に台風への備えが徹底していることです。いつ大型台風が来るかわからないので、常に、保存食や貯水、ガソリンの補給、発電機の準備、乾電池やラジオの準備をしています。ここ数年は、温暖化によって季節のパターンが変わってしまったのか、数十年、大きな台風があまり来ていませんが、それでも去年、大型台風（ユートゥー/マンカット）が接近してきた時は、皆すばやい対応をしていました。昔の教訓を皆が覚えていて、準備しているのだなと感心しました。

グアムでは、台風接近の24時間前、政府、学校、を閉めるよう指示が出され、学校などの避難所が開設されます。12時間前には、全てのビジネスが閉まります。家がコンクリート製でない所は、避難所で生活するか、コンクリート製の家で避難するように指示されます。妊婦さん達は、病院に入院し、洪水予報が出ている地域の人々は、避難所に行くよう指示されます。家々は、早くからアルミ製または鉄製のシャッターが閉められ（ドアにもついている！）、そして、台風が上陸しているときは、全く外に出ません。町は静まり返ります。台風接近に備えて、長い停電を予測してか、冷蔵庫にあるあらゆる肉をバーベキューにしています。家族で庭を掃除し、飛びそうなものは、縄をつけて補強し、家の中の電気製品は大きなゴミ袋に入れて、雨漏りなどの事態に備えています。こうした徹底振りに、始めは「そこまでしなくても」などと思っていたのですが、大型台風を経験した後は、「なるほど！」と納得し、自分の甘さを反省しました。

「備えあれば、憂いなし」 グアムの人々は、こうして常日頃、災害準備をしているので、風速100メートル級の台風が来ても、亡くなる人が1人もいないのだと思います。安心と安全は、備えがあることで得られるものなんだなあ、グアムで教えられました。皆さんが、これからも安心して生活できますように・・・



ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!